



受付日：令和7年10月14日
受付番号：HP25-KT105

接合部性能試験成績証

東京都港区海岸1-1-1
ニューピア竹芝ノースタワー
ハウスプラス住宅保証株式会社
代表取締役社長 鈴木 哲夫

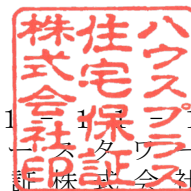


試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和7年11月11日

1. 接合金物名称	タルキーネジⅡ L=140				
2. 試験依頼者	株式会社 カナイグループ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1				
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。				
4. 試験内容	垂木-軒桁接合部の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス住宅保証株式会社制定「木質構造試験等業務における接合部性能試験業務方法書(令和6年12月1日制定)」による。				
5. 試験体仕様	1) 接合具 「タルキーネジⅡ L=140」 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C(0.18～0.26%)，Si(0.35%以下)，Mn(0.60%～1.00%)， P(0.030%以下)，S(0.035%以下)，B(0.005%以下) 寸 法：頭部径φ14.7mm 胴径φ3.8mm～4.0mm 全長L=140mm ねじ部A L=75mm ねじ部B L=20mm ねじ山AB共通：山径φ5.5mm～6.1mm、谷径φ3.0mm～3.3mm、ピッチ5.8mm(二条ねじ) 表面処理：電気亜鉛めっきおよび塗装による複合皮膜^{*1} 2) 軸組材料 <table><tr><td>垂木材：38mm×60mm×500mm 含水率：9.5～10.5%</td><td>スギ 無等級材 全乾密度：0.40～0.42g/cm³</td></tr><tr><td>軒桁材：90mm×90mm×500mm 含水率：7.0～13.0%</td><td>スギ 無等級材 全乾密度：0.39～0.42g/cm³</td></tr></table> ^{*1} Ep-Fe/Zn5/CM2C(JIS H 8610 及び JIS H 8625)以上の防錆処理	垂木材：38mm×60mm×500mm 含水率：9.5～10.5%	スギ 無等級材 全乾密度：0.40～0.42g/cm ³	軒桁材：90mm×90mm×500mm 含水率：7.0～13.0%	スギ 無等級材 全乾密度：0.39～0.42g/cm ³
垂木材：38mm×60mm×500mm 含水率：9.5～10.5%	スギ 無等級材 全乾密度：0.40～0.42g/cm ³				
軒桁材：90mm×90mm×500mm 含水率：7.0～13.0%	スギ 無等級材 全乾密度：0.39～0.42g/cm ³				
6. 試験条件等	当該接合具は、垂木の脳天から軒桁に対して75mm打ち込んだ。 試験体は、垂木を上側にして軒桁を鋼製架台に置き、垂木芯から軒桁両木口側に150mmの位置で、M12ボルト・ナット及び角座金W4.5×40を用いて、鉄骨架台と緊結した。(トルク管理値：20N・m) 加力は、垂木引張治具を用いて垂木を鉛直上方向に载荷した。 加力点は、垂木の曲げ破壊が先行しないよう、軒桁中心から垂木両木口側に150mmの位置とした。				
7. 試験結果	短期基準接合耐力 4.0 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)				
8. 試験場所	ハウスプラス住宅保証株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番				
9. 試験実施日	令和7年10月24日				
10. 試験実施担当者	ハウスプラス住宅保証株式会社 審査部 評定室 坂根 義夫 対馬 幸久 千葉 博 石田 恵菜				

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。

接合部性能試験成績証

東京都港区海岸1-1-1
ニューピア竹芝ノースタワー
ハウスプラス住宅保証株式会社
代表取締役社長 鈴川 哲夫試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和8年3月24日

1. 接合金物名称	タルキーネジⅡ L=140	
2. 試験依頼者	株式会社 カナイグループ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1	
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。	
4. 試験内容	垂木-軒桁接合部の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス住宅保証株式会社制定「木質構造試験等業務における接合部性能試験業務方法書(令和6年12月1日制定)」による。	
5. 試験体仕様	<u>1) 接合具</u> 「タルキーネジⅡ L=140」 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C(0.18～0.26%), Si(0.35%以下), Mn(0.60%～1.00%), P(0.030%以下), S(0.035%以下), B(0.005%以下) 寸 法：頭部径φ14.7mm 胴径φ3.8mm～4.0mm 全長L=140mm ねじ部A*1 L=75mm ねじ部B*1 L=20mm ねじ山径AB共通φ5.5mm～6.1mm 谷径φ3.0mm～3.3mm、ピッチ5.8mm(二条ねじ) 表面処理：電気亜鉛めっきおよび塗装による複合皮膜*2 <u>2) 枠組材料</u> 垂木：38mm×60mm×500mm スギ 無等級材 含水率：9.5～10.0% 気乾密度：0.45～0.46g/cm ³ 上枠：38mm×89mm×500mm スギ 無等級材 含水率：9.5～14.0% 気乾密度：0.43～0.48g/cm ³ 頭つなぎ：38mm×89mm×500mm スギ 無等級材 含水率：12.5～15.0% 気乾密度：0.43～0.48g/cm ³ *1 詳細は接合部性能試験報告書 図3.2を参照 *2 Ep-Fe/Zn5/CM2C(JIS H 8610 及び JIS H 8625)以上の防錆処理	
6. 試験条件等	当該接合具は、垂木の天端から軒桁(頭つなぎ、上枠)に対して脳天打ちとした。 試験体は、垂木を上側にして軒桁(頭つなぎ、上枠)を鋼製架台に置き、垂木芯から軒桁(頭つなぎ、上枠)両木口側に150mmの位置で、M12ボルト・ナット及び角座金W4.5×40を用いて、鉄骨架台に固定した。(トルク管理値：20N・m) 加力は、垂木引張治具を用いて垂木を鉛直上方向に載荷した。 加力点は、垂木の曲げ破壊が先行しないよう、軒桁(頭つなぎ、上枠)中心から垂木両木口側に150mmの位置とした。	
7. 試験結果	短期基準接合耐力 4.3 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)	
8. 試験場所	株式会社 カナイグループ 開発試験センター：〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚507-1	
9. 試験実施日	令和8年3月2日	
10. 試験実施担当者 及び 報告書作成者	試験実施担当者： 株式会社カナイグループ 開発部 小林 彰	報告書作成者： ハウスプラス住宅保証株式会社 審査部 評定室 坂楨 義夫 対馬 幸久 千葉 博